

ニセコ町自治創生総合戦略（案）における数値目標の考え方

参考資料 3

No	基本目標	指標	指標の定義	出所 (把握方法)	直近の実績値	数値目標	
						数値目標	設定の考え方
1	基本目標 1	完全失業者数	15歳以上の労働力人口のうち、仕事についておらず、仕事があればすぐつくことができる者で、仕事を探す活動をしていた者の数	国勢調査	246人 (H22)	250人 (H32)	完全失業者数の増加傾向に歯止めをかけるため、まずは平成22年度（246人）と同水準を目指す。
2	基本目標 1	納税義務者数一人当たり課税対象所得	課税対象所得を納税義務者数（所得割）で除して算出した金額	市町村税課税状況等の調	2,405千円 (H26)	2,500千円 (H31)	近年の最大値である平成22年度（2,519千円）と同水準を目指す。
3	基本目標 1	温室効果ガス総排出量（CO2換算）	環境省「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）策定マニュアル」に基づき算出。（石油製品は燃料種別の按分法を組み合わせ）	役場調べ	59,080 t-CO2 (H23)	33,503 t-CO2 (H32)	環境モデル都市アクションプランの目標値と同一とする。
4	基本目標 1	ごみ総排出量	一般廃棄物として処理されている廃棄物の量（産業廃棄物は除く）	役場調べ	931g/人日 (H26)	950g/人日 (H31)	観光客とともにごみ総排出量が増加傾向にあるが、全国平均（947g/人日（平成26年度）：「一般廃棄物の排出及び処理状況等」（環境省））は引き続き下回ることを目指す。
5	基本目標 1	「季節雇用と担い手のマッチング」のモデルケースの構築	冬季の観光業、夏季の農業などの季節雇用を安定的に通年で取り組むモデルケースを構築した事業推進主体の数	役場調べ	新規	1件 (H27-31の合計)	戦略期間に1件の確立を目指す。
6	基本目標 1	支援を受けた人から地域金融機関への融資などの相談件数	ビジネススキル・ノウハウの習得支援を受けた後、町内での創業などに向けて地域金融機関へ融資などの相談をした人の件数	役場調べ	新規	5件 (H27-31の合計)	戦略期間に毎年度1件を目指す。
7	基本目標 1	新設事業所数	経済センサスの「新設事業所（又は企業）」を年平均に換算した件数	経済センサス	年12件 (H18.10- H26.6)	50件 (H27-31の合計)	経済センサス（平成21年、平成24年、平成26年）の直近の実績値（約12件/年）などを総合して、毎年10件の新設事業所を見込んだ。

8	基本目標 1	ニセコ中央倉庫群の チャレンジショップ出店 延べ件数	指標のとおり	役場調べ	新規	90件 (H31)	毎月7～8件の出店が見込まれる拠点としての 確立を目指す。
9	基本目標 1	新規就農資金による 支援件数	指標のとおり	役場調べ	2件 (H26)	15件 (H27-31の合 計)	平成22年度～26年度の平均値（毎年度3 件）が継続することを目指す。
10	基本目標 1	道の駅「ニセコビューブ ラザ」の直売所でのニ セコ町産農作物の売 上	指標のとおり ※その他の町内直売所は含まない。	役場調べ	281百万円 (H26)	309百万円 (H31)	平成26年度（281百万円）の売上の10%増 加を目指す。
11	基本目標 1	ワイン特区を活用して 確保した新規就農者 及び醸造所開設希望 者の人数	指標のとおり	役場調べ	新規	3人 (H31)	ワイン特区の活用に向けてすでに取り組んでいる農 業者の事業計画を踏まえて設定する。
12	基本目標 1	空き家率	住民基本台帳・家屋台帳・水道停止状 況データによる想定	役場調べ	新規	5%以下 (H31)	空き家の再活用・解体などを進め、空き家率の上 昇をできるだけ抑制する。
13	基本目標 1	空き家数	住民基本台帳・家屋台帳・水道停止状 況データによる想定	役場調べ	新規	140戸以下 (H31)	空き家の再活用・解体などを進め、空き家数の上 昇をできるだけ抑制する。（空き家率5%相当を 戸数に換算）
14	基本目標 1	住宅整備戸数	建築確認申請・建築完了検査申請・建 築工事届・家屋台帳による数	役場調べ	42戸 (H26)	250戸 (H27-31の合 計)	着工中の建築物や過去の申請状況などから整備 戸数を見込むと同時に、将来人口推計の考え方 との整合を取った。
15	基本目標 2	総人口の社会増減	住民基本台帳に基づく転入者数と転出 者数の差分	住民基本台帳	年30人増加 (H17-26)	400人増加 (H27-31の合 計)	平成17年度～26年度の社会増の平均値（年 30人）の5年間分に、将来人口推計で用いた 住宅整備計画（平成31年度までに250人）を 加算した。
16	基本目標 2	都市圏の関係機関と の連携事業の件数	都市圏の関係機関と平成27年度以降 に開始した連携事業の数	役場調べ	新規	3件 (H27-31の合 計)	札幌市、東京都（又は東京23区）、その他の3 件を見込んだ。

17	基本目標 2	ふるさとづくり寄付件数	「ニセコ町ふるさとづくり寄付条例」(平成16年9月17日条例第22号)に基づく寄付件数	役場調べ	18件 (H26)	120件 (H27-31の合計)	制度の見直し及び「企業版ふるさと納税」を考慮し、近年の実績(約20件/年)の20%増(24件/年)を目指す。
18	基本目標 2	観光入込客数	指標のとおり	北海道観光入込客数調査報告書	159万人 (H26)	205万人 (H31)	ニセコ町観光振興計画の目標値(平成30年度:200万人)を踏まえて設定した。
19	基本目標 2	宿泊客延数	指標のとおり	北海道観光入込客数調査報告書	61万人泊 (H26)	71万人泊 (H31)	ニセコ町観光振興計画の目標値(平成30年度:70万泊)を踏まえて設定した。
20	基本目標 2	移住フェア訪問者などから地域金融機関への融資などの相談件数	移住相談の後、町内での創業などに向けて地域金融機関へ融資などの相談をした人の件数	役場調べ	新規	5件 (H27-31の合計)	戦略期間に毎年度1件を目指す。
21	基本目標 2	ちょっと暮らしの延べ利用泊数	北海道で実施されている移住体験滞在プログラム「ちょっと暮らし」の利用者の延べ利用泊数	役場調べ	1,258泊 (H26)	7,500泊 (H27-31の合計)	直近の実績(平成26年度:1,258泊)に20%増加した水準が5年間続いていくことを目指す。
22	基本目標 2	待機児童数	幼児センターに対する待機児童数	役場調べ	0人 (H26)	0人 (H31)	幼児センター増築により平成29年度以降の定員が増えるため、増築以降は待機児童数0が見込める。
23	基本目標 2	子育て支援センター(おひさま)の利用者数	指標のとおり	役場調べ	5,652人 (H26)	7,000人 (H31)	これまでの利用実績の最高水準(平成23年度:7,453人)も踏まえつつ、お昼時間の開放(平成29年度開始予定)以降の人数増を目指す。
24	基本目標 2	ニセコこども館の利用者数(学童保育)	指標のとおり	役場調べ	45人 (H26)	60人 (H31)	平成28年度のニセコこども館のオープンと対象学年の拡大を踏まえ、定員が全て埋まることを目指す。
25	基本目標 2	ニセコこども館の利用者数(放課後子ども教室)	放課後子ども教室の登録者数	役場調べ	55人 (H26)	50人 (H31)	直近の実績(平成26年度:55人)を踏まえ、同水準の50人が続いていくことを目指す。

26	基本目標 2	女性の労働力率	女性の「15歳以上人口」に占める「労働力人口」の割合	国勢調査	48.3% (H22)	53% (H32)	平成17年度（53.5%）と同水準を目指す。
27	基本目標 2	ニセコ中央倉庫群の来訪者数	ニセコ中央倉庫群（平成28年度オープン）への来訪者延べ数	役場調べ	新規	20,000人 (H31)	平成26年度に開催したイベント「ニセコ倉庫邑」の実績（3,000人）に基づき、毎年度その3～7倍に増加することを見込んだ。
28	基本目標 2	あそぶっくの入館者数	指標のとおり	役場調べ	46,334人 (H26)	46,000人 (H27-31の毎年度)	現在の水準（平成26年度：46,334人）の維持を目指す。
29	基本目標 2	未婚率	15歳以上の人口に対する未婚者の割合	国勢調査	23.9% (H22)	22% (H32)	平成17年度（22.5%）と同水準を目指す。
30	基本目標 2	まちづくりを考え行動する町民主体の団体の立ち上げ	ニセコ町自治創生協議会とは別の、町民主導による自治創生の推進組織の数	役場調べ	新規	1件 (H27-31の合計)	戦略期間に1件の確立を目指す。
31	基本目標 2	役場職員研修受講延べ数	「ニセコ町職員研修規程」に基づく研修（職場研修を除く）受講延べ数	役場調べ	51人 (H26)	45人 (H27-31の毎年度)	過去5年間（平成22年度～26年度）の実績を踏まえ、最低限下回らない水準を目指す。
32	基本目標 3	0歳～14歳の人口	指標のとおり	国勢調査	589人 (H22)	640人 (H32)	将来人口推計における2020（平成32）年度の0歳～14歳の人口と同水準を目指す。
33	基本目標 3	将来ニセコ町に戻りたいと考える中学生・高校生	アンケート調査において、卒業後の居住希望地を決めている生徒のうち、「ニセコ町に住み続けたい」と回答した生徒の比率	役場調べ	新規	50% (H31)	平成27年度は、自治創生町民アンケートは42%、ニセコ中学校2年生アンケート46%であった。まずは、過半数を超えることを目指す。
34	基本目標 3	国際交流イベント参加人数	国際交流協議会が主催又は参加する国際交流イベントの参加人数の合計	役場調べ	448人/年 (H24下期-H26)	2,300人 (H27-31の合計)	イベント内容の見直しによって回数を減少させる中、直近の実績（448人/年）の5年間分以上の水準を目指す。

35	基本目標 3	スキーリフト券の販売枚数	スキーリフトシーズン券の販売枚数 (ニセコ町在住の小中高校生、インターナショナルスクール生、ニセコ高校生が対象)	役場調べ	78枚 (H26)	前年度実績を上回る	購入者が増加し続けることを目指す。
36	基本目標 3	町民が参加できるスポーツイベントの回数	町が主催又は協力する様々な世代の町民が参加できるスポーツイベント実施数	役場調べ	5回 (H26)	5回 (H27-31の毎年度)	歴史あるニセコ町独自のスポーツイベント（開幕スポーツ、町民運動会、ソフトボール大会、9人制バレーボール大会、マラソンフェスティバルの5種類）を継続する。
37	基本目標 3	アスリートによるスポーツイベントの開催回数	町が主催又は協力するアスリートを呼んだスポーツイベントの開催回数	役場調べ	7回 (H26)	15回 (H31)	直近の実績（平成26年度：7回）より増加することを旨す。
38	基本目標 3	有島記念館への入館者数	公園利用者を除く入館者数	役場調べ	8,200人 (H26)	前年度実績を上回る	入館者数が増加し続けることを目指す。
39	基本目標 4	近隣自治体との新たな連携事業の件数	後志総合振興局や近隣市町村と平成27年度以降に開始した連携事業の数	役場調べ	新規	5件 (H27-31の合計)	戦略期間に毎年度1件を目指す。
40	基本目標 4	先駆的な連携事業の件数	官民協働、地域間連携、政策間連携などの先駆的な連携事業の件数	役場調べ	新規	5件 (H27-31の合計)	戦略期間に毎年度1件を目指す。